

千葉市災害対策本部 本部員会議 1 2 回目

1 日時

令和元年 9 月 1 9 日（木）午前 9 時 0 0 分～

2 議事内容

（1）本部長からの指示事項

- ・ 停電地域は、高田町（1 5 1 件）や市境なども残っている。
- ・ 個別の訪問によるプッシュ型の支援は、区を中心によくやってくれている。取り組みについては朝日新聞の記事にも掲載されている。
- ・ 各部、各区災害対策本部よくやってくれている。
- ・ 想定外もあったが、市民に対し恥ずかしくない取り組みをやってくれた。
- ・ 市民の生活再建はこれから始まる。長丁場になるため、職員を休ませながらやること。
- ・ 本日、国（菅官房長官、二階幹事長、武田防災大臣）に、支援を受けられるよう今回の災害が「特殊災害」ということを訴えてくる。
- ・ これまで支援をしてくれた団体、企業にはお礼をしていく必要がある。各部、各区で市長からお礼の電話を入れてほしい所は、秘書課へ報告願いたい。

（2）各部からの報告

消防部

- ・ 高田町他 1 2 町に対し、災害ごみ、入浴支援、市消防学校の洗濯機の開放について、広報活動を実施。
- ・ 消防学校の洗濯機は利用者なし。
- ・ 緑区で引き続き広報活動を実施するとともに、2 班 1 0 名体制でブルーシート養生作業を行う。
- ・ 9 月 1 8 日の熱中症の搬送は 0 人、9 月 1 0 日をピークに減ってきている。

建設部

- ・ 昨日、土のうを 1 4 0 0 袋作成。在庫は 2 7 0 0 袋あり、十分と考えている。
- ・ 支援物資として、国交省より砂 2 4 m³、土のう袋 3 0 0 0 袋もらった。柏市からも 1 0 0 0 袋もらっている。また、山梨県の建設会社より土のう 3 0 0 袋の支援をもらった。
- ・ 昨日、東電関係以外の倒木が 5 6 件と報告したが、現状 4 5 箇所ほど残っている。
- ・ 市民の生活もだいぶ落ち着いてきたのか通行量が増えてきた。
- ・ 倒木撤去で通行できることになったことにより市民の移動範囲が広がり、追加で倒木の報告が 3 0 箇所ある。

水道部

- ・ 停電による給水は、ほぼ解消。
- ・ 昨日、定点型の給水所は1名利用有り（利用者は昨日と同一人物）。今後はデリバリー型の支援に切り替える。
- ・ プッシュ型で1日15件。市の力だけで対応できるため、川崎市、県水には支援を切り上げてもらう旨、伝える。
- ・ 川崎市には10リットルの給水パック800袋をもらい、465袋使用。残りは千葉市民のために寄付してもらった。

都市部

- ・ 昨日のブルーシート養生作業は、2班体制で午前中だけの作業だったため実績は3件。
- ・ 今日現在でブルーシート養生の要望が221件ある。ボランティアが20名ほど来るため、消防部と連携し、30名4班を編成、可能な限り回る。
- ・ 相談窓口の件数は419件になった。ブルーシート関係が多い。
- ・ リ災者用住宅の残りは9戸。市外被災者（鋸南町）を1件受け入れた。
- ・ 昨日の雨が原因かは不明だが、大きな街路樹が倒れた。引き続き警戒していく。
⇒倒れてはいないが、傾いているものがある。東電の倒木処理は、最低限しか行っていない。傾いた倒木や街路樹はパトロールを毎日行い確認している。（建設部）

環境部

- ・ 災害ごみの申込み未処理が、火曜：511件、水曜：516件と件数が増えている。
- ・ 打瀬地区（幕張クリーンセンター分）のごみの収集について、委託に切り替える予定だったが調整がつかず、9月中は環境事業所の直営となる。
- ・ 災害ごみは許可業者に依頼し、処理を手伝ってもらう。
- ・ 新内陸最終処分場の残土置き場を、倒木の仮置き場とする。今日中に鉄板を敷き、明日から受入可となる予定。
- ・ 土気の業者（タケエイ）から、仮置き場の貸し出しが可能との連絡あった。

経済農政部

- ・ 千葉サイクル会館は東電の復旧作業員の利用が9名と減ってきていたが、昨日23名宿泊。これから増えていく。
- ・ 停電が長期化しているため、緑区に窓口をつくり、民間企業の宿泊施設を案内しているが、応募は0。東
- ・ 中小企業の被災者への災害復旧資金の受付を始めたい。本日記者発表する。
⇒宿泊の応募が少ないのであれば、経済部の職員を派遣するのは効率が悪い。緑区から引き

揚げさせても問題ないか。(市長)

⇒引き戻して問題ない。(緑区)

保健福祉部

- ・ 2つの障害者施設は停電中だが、支障なく生活している。
- ・ 若葉と緑のいきいきプラザでの入浴利用は約70人と、一定の利用が有るので、引き続き行う。
- ・ 千葉南病院の停電の状況は。

⇒病院近くの倒木により停電しているが、電源車が配備され、支障はない。(保健福祉部)

⇒速やかな復旧を東電に要望し、今日中に処理する勢いでやらせること。(市長)

教育部

- ・ 古谷乳業が昨日、復電して再開準備に入る予定。9月26日からの供給を目指している。
- ・ 中学校における牛乳の代替食品をの提供中。小学校も代替食品の提供を行う予定。
- ・ 土気中などの学校施設の開放をしたが、昨日は利用無し。復電とともに閉鎖したい。

議会部

- ・ 分科会について、今日午後に理事会があるが、質疑時間の1人45分を30分に短縮すること、今回の災害対応に関する質疑は控えることを願います。
- ・ 一般質問について、取り下げや項目・時間の削減を議長からお願いしている。今日の12時を締切としており、申し出がある場合は、各局で対応願いたい。
- ・ 議員が街頭募金を行う。(そごう千葉店など)

緑区

- ・ 土気に行ったが、停電状況の確認が難しい。住宅地図レベルで特定してもらいたい。
- ・ り災証明の申請300件、ブルーシートは3,400枚配布した。
- ・ 3連休で土気地区のり災証明の申請が多くなると思われる。土気公民館でも受付を行えな
いか検討中であるため、職員の動員や施設の提供をお願いしたい。
- ・ 被害認定調査の動員を行っているが、基準を統一するため、同じ人を数日間固定して派遣してほしい。
- ・ 側溝にゴミや枯葉が詰まっており、普段冠水しないところが冠水している。

中央区

- ・ 今回の災害を教訓にして検証すべきことが増えてきている。
- ・ 事業を行いながら記録をとっておくべき。各区・本部も含めて記録をとっておいてもらいたい。

- ・ブルーシートの要望状況について、管理のために全庁フォルダに個人情報を含んだデータを載せざるを得ないが、情報システム課と協議するとパスワード設定を強いられる。細かいかもしれないが、災害時の個人情報の取り扱いについて考えてもらいたい。

- ・応援に来た職員が「ブルーシートの配布だけで来た」と言うことがある。電話の対応や窓口対応の一部としてブルーシートの配布がある。区本部の全般的な内容が分かる職員を送ってもらいたい。

- ・本日も引き続き現地確認に行く。

- ・昨日、夜に2件電話あり。

① 23:30 「千葉県の対応が悪い、自衛隊の動きが悪い、知っているのか？」

② 4:30 内容は23:30と同じ。千葉市はよくやっていると激励の話があった。

若葉区

- ・停電状況は、資料の4地区（富田、中野、小間子、上泉）に加え、金親、和泉、御殿も停電していることを区で把握し東電に情報提供している。

- ・昨日は6名の職員を3台に分け、停電地域で現地調査等を実施。

- ・要介護者も多く、保健福祉センターと協力して対応していく。

- ・小間子の停電が多く、千葉東警察署の協力を得て調査している。

- ・昨日のり災証明の申請は54件。

- ・若葉区も、り災証明申請窓口として、泉市民センターの開設を緑区とともに検討していきたい。

- ・経済農政部による宿泊施設の提供について若葉区の住民は若葉区で受け付けるような対応をしてほしい。

市長

- ・中央区長も言ったが、災害の教訓は生々しく残しておくべき。

- ・危機管理部門で落ち着いたときに取りまとめてほしい。

- ・東日本の際に、建設局が災害記録誌を作ったが、そういうことが大事。

(3) 今後の予定

事務局

- ・次回以降の本部会議は

9月20日（金）：16：00～

9月21日（土）：急変しなければなし

9月22日（日）：9：00～

9月23日（月）：急変しなければなし

9月24日（火）：9：30～

- ・今まで撮影したものなどは、意識的にとりまとめてもらいたい。
- ・台風15号に関する無料相談について、県の弁護士会が開催。広報をしてもらいたい。

総務部

- ・各局に職員動員と第1配備体制の状態をとってもらっている。
- ・本部で検討して、第1配備体制のまま、動員は縮小しようと考えている。決まった時点で各部に連絡する。

市長

(今回の災害に直接関係はないが、今後の対策として)

- ・体育館へのエアコン導入は、避難者が多くなるとされる箇所について、検討してはどうか。

以上